

第二十二回 貴族院議事速記録第五號

明治三十八年一月二十五日(水曜日)

午前十時八分開議

議事日程 第五號 明治三十八年一月二十五日

午前十時開議

第一 公爵毛利元昭君、侯爵尚典君、子爵京極高典君請暇ノ件

第二 臺灣銀行ニ於テ發行スル銀行券ノ偽造變造等ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第四 北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第六 日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第七 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第八 明治三十年法律第十三號中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第九 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十 司法官試補實地修習期間減縮ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第十一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十二 耕地整理法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第十三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十四 船舶法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第十五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十六 船舶職員法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第十七 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十八 古社寺保存法第十六條ニ依リ國庫ヨリ支出スヘキ金額ニ關スル法律 第一讀會ノ續(特別委員報告)

案(政府提出案)(議院送付)

第十九 實用新案法案(政府提出案) 第一讀會ノ續(特別委員報告)

第二十 煙草專賣局及鐵道所据置運轉資本補足ニ關スル法律案(政府提出案) 第一讀會ノ續(特別委員報告)

第二十一 海軍工廠資金會計法案(政府提出案) 第一讀會ノ續(特別委員報告)

第二十二 國債證券及貯蓄債券ノ利子所得稅免除ニ關スル法律案(政府提出案) 第一讀會ノ續(特別委員報告)

第二十三 國債證券價格計算ニ關スル法律案(政府提出案) 第一讀會ノ續(特別委員報告)

第二十四 在外國帝國專管居留地特別會計法中改正法律案(政府提出案) 第一讀會ノ續(特別委員報告)

○議長(公爵德川家達君) 開會ヲ致シマス前ニ諸君ニ申上ゲマスコトガゴザイマス、今月三日 皇孫殿下ノ御降誕アラセラレマシタニ就キマシテ、去ヌル五日議長ハ議院代表イタシマシテ祝辭ヲ 天皇 皇后兩陛下竝ニ 皇太子 皇太子妃兩殿下ニ言上イタシマシタ、昨年十二月三十日東郷上村兩司令長官ガ新橋ヘ歸著イタサレマシタ時ニ、諸君代表イタシマシテ議長ハ新橋ニ於テ出迎テ致シマシタ、其節ニ議長ハ諸君ヨリノ御傳言ヲ申傳ヘマシタ、所ガ、兩司令長官ヨリ鄭重ナル挨拶ガゴザイマシタ、諸君ニ宜シク申上ゲロト云フコトノ依頼ヲ受ケマシタ、其後先日兩司令長官懇々議長ノ宅ヘ參ラレマシテ尙鄭重ナル挨拶ヲ述ベラレマシタ、此コトヲ諸君ニ申上ゲテ置キマス、昨二十四日鎌田勝太郎君ガ貴族院令第一條第五項ニ依リマシテ貴族院議員ニ任ゼラレマシタ、其部屬ハ第九部ニ編入ノコトニ取扱ツテ置キマシタ、ソレカラ第四部ノ選出、資格審査委員渡邊男爵ガ薨去ニ付キマシテ其補缺選舉ヲ行ハレムコトヲ希望イタシマス、其補缺選舉ノ日時ハ本日ノ議事散會後ニ願ヒタウゴザイマス、其他ノ報告ハ略シマシテ、何レ速記録ニ掲ゲルコトニ致シマス、ソレデ御異存ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ玆ニ載録ス〕

一 明治三十七年十二月二十八日可決シタル左ノ政府提出案ハ即日內閣總理大臣ヲ經由シテ裁可ヲ奏請シ同時ニ可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

明治三十八年度歲入歲出總豫算案並明治三十八年度各特別會計歲入歲出

豫算案

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

臨時軍事費豫算追加案

明治三十七年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)

明治三十七年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號)

明治三十八年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)

相續稅法案

登錄稅法中改正法律案

非常特別稅法中改正法律案

酒造稅法中改正法律案

酒精及酒精含有飲料稅法中改正法律案

麥酒稅法中改正法律案

沖繩縣酒類出港稅則中改正法律案

酒母、醪及麴取締法案

酒造組合法案

關稅定率法附屬輸入稅表中改正法律案

又同日第二讀會ヲ開カサルコトヲ議決シタル衆議院提出商業會議所法中改正法律案ハ即日其ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

一同日本院ハ十二月二十九日ヨリ明治三十八年一月二十四日マテ休會スル

コトニ定メタル旨ヲ政府及衆議院ニ通知セリ

一同日衆議院ヨリ同院ハ十二月二十九日ヨリ明治三十八年一月二十日マテ休會スル旨ノ通牒ヲ受領セリ

一同月十九日政府ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

臺灣銀行ニ於テ發行スル銀行券ノ偽造變造等ニ關スル法律案

北海道拓殖銀行法中改正法律案

日本勸業銀行法中改正法律案

明治三十年法律第十三號中改正法律案

司法官試補實地修習期間減縮ニ關スル法律案

耕地整理法中改正法律案

船舶法中改正法律案

船舶職員法中改正法律案

一同日政府ヨリ左ノ決算ヲ提出セリ

明治三十四年度歳入歳出總決算

明治三十四年度各特別會計歳入歳出決算

明治三十四年度歳入歳出決算檢査報告

明治三十五年度歳入歳出總決算

明治三十五年度各特別會計歳入歳出決算

明治三十五年度歳入歳出決算檢査報告

一同日政府ヨリ左ノ報告書ヲ受領セリ

明治三十五年四月一日ヨリ 各省所管官有財産増減異動報告書

明治三十六年三月三十一日ニ至ル 各省所管官有財産増減異動報告書

明治三十七年三月三十一日ニ至ル 各省所管官有財産増減異動報告書

一同月二十一日特別委員會ニ於テ當選シタル委員長及副委員長ノ氏名左ノ如シ

在外國帝國專管居留地特別會計法中改正法律案特別委員會

委員長 侯爵菊亭 修季君 副委員長 伯爵坊城 俊章君

國債證券及貯蓄債券ノ利子所得稅免除ニ關スル法律案外一件特別委員會

委員長 伯爵柳原 義光君 副委員長 南郷 茂光君

古社寺保存法第十六條ニ依リ國庫ヨリ支出スヘキ金額ニ關スル法律案特別委員會

委員長 下條 正雄君 副委員長 渡 正元君

明治三十五年法律第四十九號中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵柳澤 保惠君 副委員長 石井省一郎君

蠶病豫防法案特別委員會

委員長 侯爵松平 康莊君 副委員長 田中 芳男君

實用新案法案特別委員會

委員長 子爵鍋島 直彬君 副委員長 子爵三島 彌太郎君

一同日在外國帝國專管居留地特別會計法中改正法律案特別委員長ヨリ可決報告書ヲ提出セリ

一同月二十三日特別委員會ニ於テ當選シタル委員長副委員長ノ氏名左ノ如シ

海軍工廠資金會計法案特別委員會

委員長 子爵長岡 護美君 副委員長 男爵相浦 紀道君

煙草專賣局及製鐵所據置運轉資本補足ニ關スル法律案特別委員會

委員長 伯爵大原 重朝君 副委員長 男爵野田 裕通君

一同日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

海軍工廠資金會計法案可決報告書

古社寺保存法第十六條ニ依リ國庫ヨリ支出スヘキ金額ニ關スル法律案可決報告書

煙草專賣局及製鐵所據置運轉資本補足ニ關スル法律案可決報告書

實用新案法案可決報告書

國債證券及貯蓄債券ノ利子所得稅免除ニ關スル法律案可決報告書

國債證券價格計算ニ關スル法律案可決報告書

一昨二十四日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

明治三十七年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(特第二號)

一同日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

蠶病豫防法案可決報告書

明治三十五年法律第四十九號中改正法律案可決報告書

一同日明治三十五年法律第四十九號中改正法律案特別委員長伯爵柳澤保惠君

外二名ヨリ同案特別委員會ノ報告ニ對スル少數者意見ヲ提出セリ

一同日政府ヨリ左ノ通牒ヲ受領セリ

臺灣總督府事務官 峽 謙 齊

內務省所管事務政府委員被仰付

臺灣總督府財務局長 祝 辰 巳

內務省所管事務政府委員被免

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ議事日程ニ移リマス、議事日程第一、

公爵毛利元昭君四十日間、尙侯爵二週間、京極子爵三週間請暇ヲ申出ラレマ

シタ、御異議が無ケレバ許可イタシマス

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○伯爵正親町實正君 チョット議事日程變更ノコトデ……

○議長(公爵德川家達君) 議事日程變更ノコトデスカ

○伯爵正親町實正君 ハイ、此際ニ議事日程ニ追加サレマシテ、此所デ特

第二號明治三十七年度各特別會計歲入歲出豫算追加案ノ審査期限ヲ定ムルノ

件、之ヲ御議シアラムコトヲ希望イタシマス、此動議ヲ提出イタシマス

○伯爵大原重朝君 贊成イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 正親町伯爵ヨリノ議事日程變更ノ說ニ御異存ハゴ

ザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ議事日程ヲ變更イタシマス

○伯爵正親町實正君 此追加豫算ノ審査期限ノコトデゴザイマスガ、是ハ内

容ヲ見マスルト、隨分急ヲ要スルヤウナコトモゴザイマスカラ、此審査ハ本

日中ニ結了イタシマシテ明朝御報告イタスト云フコトニ致シタイ考デアリマ

ス、ドウカ御賛成ヲ願ヒマス

○伯爵大原重朝君 贊成

○伯爵柳原義光君 贊成

○男爵野田裕通君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 唯今ノ正親町伯爵ノ述ベラレマシタ通りデ御異存

ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ左様イタシマス、次ハ議事日程第二

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ玆ニ載録ス以下之ニ做フ〕

臺灣銀行ニ於テ發行スル銀行券ノ偽造變造等ニ關スル法律案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治三十八年一月十九日

內閣總理大臣 伯爵桂 太 郎

大藏大臣 男爵曾 禰 荒 助

臺灣銀行ニ於テ發行スル銀行券ノ偽造變造等ニ關スル法律案

刑法中貨幣ニ關スル犯罪ノ規定ハ臺灣銀行ニ於テ發行スル銀行券ニ之ヲ準

用ス

○議長(公爵德川家達君) 御發議ガゴザイマセネバ次ノ日程ニ移リマス、特

別委員選舉、是ハ例ニ依リマシテ、議長指名デ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ左様イタシマス、次ハ議事日程第四

北海道拓殖銀行法中改正法律案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治三十八年一月十九日

内閣總理大臣 伯爵桂 太郎

大藏大臣 男爵曾 禰 荒助

北海道拓殖銀行法中改正法律案

北海道拓殖銀行法中左ノ通改正ス

第六條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第七條第一項第四號ヲ左ノ如ク改ム

四 爲替、荷爲替及北海道ノ產物ヲ擔保トスル貸付

同條第一項第五號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

六 手形ノ割引

同條第二項ヲ左ノ如ク改ム

拓殖銀行ハ前項第四號ニ依ルノ外仍北海道ノ產物ノ貯藏ヲ主タル目的ト
スル倉庫内ニ貯藏スル產業上必要ノ貨物ヲ擔保トシテ貸付ヲ爲スコトヲ
得

第一項第六號ノ手形ハ割引依頼人ヨリ北海道ノ產物又ハ北海道ノ拓殖ヲ
目的トスル株式會社ノ株券債券ヲ擔保ニ供スルモノニ限ル

第一項第三號第四號第六號及第二項ノ事業ニ使用スヘキ金額ハ第一項第

一號及第二號ニ依ル貸付金總額ヲ超過スルコトヲ得ス

第八條ニ左ノ二項ヲ加フ

二十人以上ノ農業者又ハ工業者申合セ連帶責任ヲ以テ借用ヲ申出テタル
トキハ其ノ信用ノ確實ナルモノニ限り五箇年以内ニ於テ定期償還ノ方法
ニ依リ無抵當貸付ヲ爲スコトヲ得

産業組合法ニ依リ設立シタル無限責任ノ信用組合販賣組合購買組合及生
産組合ニハ五箇年以内ニ於テ定期償還ノ方法ニ依リ無抵當貸付ヲ爲スコ
トヲ得

第九條ノ二 北海道拓殖銀行ハ日本銀行、日本勸業銀行及日本興業銀行ノ
代理店トナルコトヲ得

第十二條ニ左ノ一項ヲ加フ

商法第百九十九條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ適用セス

○議長(公爵徳川家達君) 是モ別ニ御發議ガゴザイマセネバ特別委員選舉ニ
移リマス、是モ議長指名デ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 次ハ第六

日本勸業銀行法中改正法律案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治三十八年一月十九日

内閣總理大臣 伯爵桂 太郎

大藏大臣 男爵曾 禰 荒助

日本勸業銀行法中改正法律案

日本勸業銀行法中左ノ通改正ス

第二十一條ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ据置年限ハ相手方ノ希望ニ因リ之ヲ定メサルコトヲ得
第二十八條第一項中「之ヲ拂込マサルトキ」ノ下ニ「又ハ期限前ノ償還要求
ニ對シ其ノ拂込ヲ爲ササルトキ」ヲ加フ

第三十一條ノ二 日本勸業銀行ハ其ノ業務ニ附帶シテ委託金ヲ受領シ又ハ
地金銀若ハ有價證券ノ保護預リヲ爲スコトヲ得

第三十二條第一項中「營業上餘裕金」ヲ「前條ノ委託金又ハ營業上ノ餘裕金」
ニ改メ第二項中「前項ニ依ルノ外」ノ下ニ「前條ノ委託金又ハ」ヲ加フ

第三十六條ノ二 日本勸業銀行ハ第二十三條ニ依リ期限前ノ償還ヲ受ケタ
ル場合ニ於テハ大藏大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ金額ヲ限度トシ勸業債券ノ買
入消却ヲ爲スコトヲ得

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第六、別ニ御發議ガゴザイマセネバ第七
ニ移リマス、此委員ノ選舉モ議長ニ御委託ニナリマスカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ議長指名ト致シマス、玆ニ於テ諸君ニ御諮リテ致シマスガ、第四ト第六ノ議案ハ便宜同一委員ニ付託シテ如何デスカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ同一ノ委員ニ付託イタシマス、次ハ議事日程第八

明治三十年法律第十三號中改正法律案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治三十八年一月十九日

内閣總理大臣 伯爵桂 太郎

海軍大臣 男爵山本 權兵衛

明治三十年法律第十三號中改正法律案

明治三十年法律第十三號中「陸軍」ヲ「陸海軍」ニ改ム

○議長(公爵徳川家達君) 是モ別ニ御質問モゴザイマセネバ議事日程第九ニ移リマス、此委員選舉モ議長ニ御委託デ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 次ハ議事日程第十

司法官試補實地修習期間減縮ニ關スル法律案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治三十八年一月十九日

内閣總理大臣 伯爵桂 太郎

司法大臣 波多野 敬直

司法官試補實地修習期間減縮ニ關スル法律案

司法官試補 實地修習期間ハ今後三年間ハ一年六箇月迄ニ減縮スルコトヲ得

○議長(公爵徳川家達君) 御異存ガ無ケレバ議事日程第十一ニ移リマス、此委員モ議長ニ於テ選定シテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ議長ガ選定イタシマス、次ハ議事日程第十二

耕地整理法中改正法律案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治三十八年一月十九日

内閣總理大臣 伯爵桂 太郎

農商務大臣 男爵清浦 奎吾

耕地整理法中改正法律案

耕地整理法中左ノ通改正ス

第一條 本法ニ於テ耕地整理ト稱スルハ耕地ノ利用ヲ増進スル目的ヲ以テ其ノ所有者共同シテ土地ノ交換若ハ分合、區劃形狀ノ變更、道路、堤塘、畦畔、溝渠、溜池等ノ變更廢置及之ニ伴フ灌溉排水ニ關スル設備並工事ヲ行フヲ謂フ

第三十條中「命スルコトヲ得」ヲ「命シ又ハ整理施行發起ノ認可ヲ取消スコトヲ得」ニ改ム

第三十二條ノ二 農商務大臣ハ整理施行ニ關シ其ノ職權ノ一部ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第六十六條第二號中「第二十八條第一項」ヲ「第二十八條第二項」ニ改ム

〔國務大臣男爵清浦奎吾君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵清浦奎吾君) 本案ハ極メテ簡單ナル案デアリマスルケレドモ、此事柄ハ隨分重要ナル事柄デアリマスカラ一ト通り提出ノ理由ヲ辯明イタシマス、我邦ハ農ヲ以テ最モ重シトシテ居ルノデアリマスガ、近來農事改良ト云フ事ニ付キマシテハ著々其經畫ヲ立テ、居リマス、而シテ農事ノ改良ニ於テ其根本的トナリマス所ノモノハ即チ耕地整理ノ事業デアリマス、耕地整理法施行以來各地方ニ於キマシテ、ソレノ經畫ヲ致シマシテ落成イタシマシタ所モアリマスシ、現ニ唯今施行中ニアル所ノモノモ少カラヌコトデアリマスガ、既ニ成リマシタ蹟ニ就テ見マスレバ此整理ノ結果ハ非常ナル好成績ヲ奏シテ居ルコトハ一般既ニ認メラレテ居ルヤウナコトデアリマス、農事改良ニ付テ耕地整理ガ最モ必要デアリマスガ、其耕地整理ニ付テ用水ノ灌溉

惡水ノ排除ト申スコトガ耕地整理ニ於テ頗ル重要ナル關係ガアリマス、然ルニ耕地整理法ノ第一條ニ於キマシテ其文面ノ判然イタシマセヌ所ヨリシテ其意義ニ疑惑ヲ生ジテ用水灌漑、惡水排除等ノ設備工事ニ關スル點ニ付テ之ニ對スル資金ノ供給ニ於テ勸業銀行若クハ農工銀行等ヨリ貸附ヲ致シマス上ニ付テ稍々疑義ヲ生ジ、之ガ爲ニ金融上圓滑ナラヌ實歴モアリマシテ頗ル不便ヲ感ジテ居リマス、耕地整理中ニ於テ即チ此灌漑排水ノコトハ最も必要デアリマシテ、而シテ此第一條ノ定義ノ上ニ於テ疑義ノアリマス所ヨリシテ資金ノ供給上等ニ圓滑ヲ缺イテ居ル點ガアリマス爲ニ、即チ之ヲ救フガ爲ニ第一條ニ改正ヲ試ルノ必要ガ生ジテ來タノデアリマス、ソレカラ耕地整理ノ成績ガ頗ル良好ヲ認ノラレマシテ各縣ニ於テ追々擴テ參リマス、殊ニ昨年以來ハ斯ル時局ヲ成ルベク良好ニ利用シテ所謂紀念耕地整理ナドト云フヤウナコトデ、斯ル時局ノ際ニ斯ル良キ事業ヲ努メテ進行セシメタイト云フコトヲ以テ各地方デモ熱心之ガ經畫ヲ立テ、居ルヤウナ次第ゴザイマス、耕地整理事業ハ追々ニ進行イタシマス、其進行イタシマスルニ付キマシテハ耕地整理ニ關スル所ノ事務モ頗ル多クナリマスデゴザイマスカラ、之ニ向ッテハ努メテ簡易簡便ナル方法ヲ採リマシテ整理ノ經畫其他ニ付キマシテ是マデ一々農商務省マデ持出ス所ノモノモ成ルベク之ヲ手近ナ便宜ナル所ノ地方廳デ其事柄ガ捌ケ得ラル、ヤウニ致シマスレバ手數ヲ省キマシテ頗ル便利ナル次第デアリマスカラ、ソコデ農商務大臣ハ耕地整理ノ權限ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得ルト云フコトニ致シマシテ、耕地整理ニ關スル事務ノ取扱ヲ努メテ簡易簡便ナラシメタイト云フ精神カラスノ如キ改正ヲ加ヘマシタノデアリマス、其他一二ノ改正ヲ試ル點モアリマスガ、ソレハ別ニ説明ヲ要スルコトモ無イト考ヘマスルシ、又詳細ナルコトニ於キマシテハ特別委員會ニ於テ委ク御話ヲ申上ゲルデゴザイマスカラ、御審議ノ上、協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 別ニ御發議ガゴザイマセバ議事日程第十三ニ移リマス、此特別委員ノ選舉モ議長ニ御委託ニナリマスカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ガ無ケレバ議長ガ選舉イタシマス、次ハ議事日程第十四

船舶法中改正法律案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治三十八年一月十九日

内閣總理大臣 伯爵桂 太郎
遞信大臣 大浦 兼武

船舶法中改正法律案

船舶法中左ノ通改正ス

第十三條第一項中「船舶國籍證書カ滅失又ハ毀損シタルトキハ」ヲ「船舶國籍證書カ滅失若クハ毀損シ又ハ之ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ」ニ改ム

第十四條中「日本ノ國籍ヲ喪失シタルトキ」ヲ「日本ノ國籍ヲ喪失シ若クハ第二十條ニ掲グル船舶トナリタルトキ」ニ改メ同條ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ場合ニ於テ船舶所有者カ抹消ノ登録ヲ爲ササルトキハ管海官廳ハ一个月内ニ之ヲ爲スヘキコトヲ催告シ正當ノ理由ナクシテ尙其手續ヲ爲ササルトキハ職權ヲ以テ抹消ノ登録ヲ爲スコトヲ得

第二十三條中「罰金ニ處シ」ノ下ニ「情狀重キトキハ其」ヲ加フ

附則

船舶國籍證書ヲ受有スル日本船舶ニシテ本法施行前ニ第二十條ニ掲グル船舶トナリタルモノニ付テハ第十四條ニ定メタル二週間ノ期間ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

○議長(公爵徳川家達君) 是モ別ニ御發言ガゴザイマセバ議事日程第十五ニ移リマス、此特別委員ノ選舉モ議長指名デ宜シウゴザイマスカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ議長ノ指名ト致シマス、次ハ議事日程第十六

船舶職員法中改正法律案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治三十八年一月十九日

船舶職員法中改正法律案

内閣總理大臣 伯爵桂 太郎
遞信大臣 大浦 兼武

船舶職員法中左ノ通改正ス

第一條第一項ヲ左ノ如ク改ム

日本船舶ニハ命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外此ノ法律ノ規定ニ依リ船舶職員ヲ乗組マシムヘシ但シ船舶検査法第一條各號ニ掲グル船舶ハ此ノ限ニ在ラス

第三條ニ左ノ一項ヲ加フ

遞信大臣ハ海技免狀ノ效力ニ制限ヲ加ヘタルモノヲ授與スルコトヲ得

第四條ニ左ノ一項ヲ加フ

第一號表ニ定ムル免狀ハ命令ノ定ムル所ニ依リ他ノ種類ノ免狀ヲ以テ代用スルコトヲ得

第五條第一項中「海員名簿」ヲ「海技免狀原簿」ニ改ム

第五條及第六條中「海員試験」ヲ「試験」ニ改ム

第七條 左ニ掲グル船舶ニ付テハ命令ヲ以テ其ノ職員ニ關シ別段ノ規程ヲ設クルコトヲ得

一 外國各港間ノミチ航行スル船舶

二 漁獵其ノ他特殊ノ目的ニ專用スル船舶

三 特殊ノ構造ヲ有スル船舶

第八條 此ノ法律又ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ相當スル船舶職員ヲ乗組マシメサルトキハ船舶所有者、船舶共有ノ場合ニ於テハ船舶管理人、船舶賃貸借ノ場合ニ於テハ賃借人ヲ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

此ノ法律又ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違反シテ船舶職員ト爲リタル者、海技免狀ノ行使ノ假停止若ハ差押中其ノ職務ヲ執リタル者又ハ海技免狀ヲ貸付シ之ヲ行使セシメタル者ノ罰亦前項ニ同シ

第九條第二項ヲ左ノ如ク改ム

前條第一項ノ罰則ハ船舶所有者、船舶管理人又ハ賃借人カ法人ナルトキハ其ノ代表者、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ船舶ノ管理ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第九條ノ二 此ノ法律又ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ノ規定ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ船舶検査法第十七條ニ掲グル外國船舶ニ準用スルコトヲ得

附則

此ノ法律施行前海員名簿ニ登録セラレタル者ハ海技免狀原簿ニ登録セラレタル者ト看做ス

此ノ法律施行ノ際現在スル日本船舶ニハ命令ニ特別ノ規定アルモノヲ除クノ外明治三十八年十二月三十一日迄從前ノ規定ニ依リ船舶職員ヲ乗組マシムルコトヲ得

第一號表

航路	船舶種類	總噸數	職員名稱	免狀種類	定員
遠洋	汽船	五百噸未滿	船長 一等運轉士 二等運轉士 一等機關士	甲種一等運轉士 甲種二等運轉士 乙種一等運轉士 乙種二等運轉士	一 一 一 一
		五百噸以上	船長 一等運轉士 二等運轉士 一等機關士	甲種一等運轉士 甲種二等運轉士 乙種一等運轉士 乙種二等運轉士	一 一 一 一
航路	帆船	二百噸未滿	船長 一等運轉士 二等運轉士	甲種一等運轉士 甲種二等運轉士 乙種一等運轉士 乙種二等運轉士	一 一 一 一
		二百噸以上	船長 一等運轉士 二等運轉士	甲種一等運轉士 甲種二等運轉士 乙種一等運轉士 乙種二等運轉士	一 一 一 一
近海	汽船	二百噸未滿	船長 一等運轉士 二等運轉士 一等機關士	甲種一等運轉士 甲種二等運轉士 乙種一等運轉士 乙種二等運轉士	一 一 一 一
		二百噸以上	船長 一等運轉士 二等運轉士 一等機關士	甲種一等運轉士 甲種二等運轉士 乙種一等運轉士 乙種二等運轉士	一 一 一 一
航路	汽船	千噸未滿	船長 一等運轉士 二等運轉士 一等機關士	甲種一等運轉士 甲種二等運轉士 乙種一等運轉士 乙種二等運轉士	一 一 一 一
		千噸以上	船長 一等運轉士 二等運轉士 一等機關士	甲種一等運轉士 甲種二等運轉士 乙種一等運轉士 乙種二等運轉士	一 一 一 一

○下條正雄君 唯今議題ニ上リマシタ古社寺保存法第十六條ニ依リ國庫ヨリ支出スベキ金額ニ關スル法律案ニ就キマシテ特別委員會ハ一昨二十三日に開キマシテゴザイマス、先ヅ政府委員ノ説明ヲ求メマシテ、又各委員カラ質問モゴザイマシテ審議ヲ盡シタ次第デゴザイマス、其説明ノ要領トスル所ハ現行法ノ即チ明治三十年法律第四十九號古社寺保存法ノ第十六條ニ國庫ヨリ保存金及補給金トシテ支出スベキ金額ハ一箇年十五萬圓乃至二十萬圓ト云フコトニナツテ居ルノデゴザイマス、ソコデ年々其金額ノ範圍ヲ以テ支給シ來ツタサウデゴザイマスガ、此理由書ニモアル通り臨時事件ニ際シマシテ財政上豫算ノ都合ヲ以テ即チ現行法ニ於テ定ムル所ノ十五萬圓チ之ニ充ツルコトハ出來得ナイコトニナツタノデ、三十八年度ニ於テハ僅ニ二萬圓内外、以上ヨリ外ニハ許サレヌト云フ勢ニナツタサウデゴザイマス、時局柄已ムチ得ズ本法ヲ制定イタシマシテ最下限ノ額ヲ無クシテ仕舞ハナケレバ現行法ニ牴觸シテ差支ヲ生ズルト云フ理由ノ説明ヲ委ク承リマシテゴザイマス、又質問ヲ致シマシタ其大略ハ建造物ノ修繕及國寶ノ修理等既ニ今日著手ニナツテ居ル部分、又許可ヲ得マシテモ未ダ著手セザル部分、又僅カナ金額ヲ以テ其配付ノ方法ハ如何ニスルカト云フヤウナコトヲ委シク尋ネラレタコトデアリマスガ當局者ハ現今著手中ノ嚴島神社ノ一部分或ハ奈良大佛ノ修繕其他一二箇所ノ誠ニ捨置キ難イト云フ部分ダケノモノニ對シテ配付スル覺悟デアルト云フ詳カナ説明ヲ受ケタコトデゴザイマス、結局委員會ニ於キマシテハ全會一致ヲ以テ可決スベキモノト議決シタ次第デゴザイマス、何卒滿場ノ諸君ニ於カレマシテモ御賛成アツテ速ニ議決セラレムコトヲ希望イタシマス、且又此議案ハ今申上ゲル通りノ極簡單ナ議案デゴザイマシテ、全ク豫算ガ許サヌト云フ所ノ法律ノ定メタル所ノ最低額ガアツテ見ルト執行上ニ差支ヘルト云フ、已ムチ得ヌカラ單行法律ヲ以テ本法ヲ施行シナケレバナラヌト云フコトニ止

マルノデアリマス、ドウカ讀會省略ヲ以テ議決セラレムコトヲ希望イタシマス

○子爵錦織教久君 讀會省略賛成

○子爵三島彌太郎君 讀會省略賛成

○南郷茂光君 讀會省略賛成

○子爵大田原一清君 讀會省略賛成

○湯地定基君 讀會省略賛成

○男爵金子有卿君 讀會省略賛成

○千坂高雅君 讀會省略賛成

○男爵千秋季隆君 讀會省略賛成

〔此他「賛成」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 讀會省略ノ動議ハ成立ッタモノト認メマス、下條君ノ讀會省略説ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、原案ニ御異議ハゴザイマセマカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ可決イタシマス、次ニ議事日程第十九、特別委員長報告、鍋島子爵

實用新案法案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十八年一月二十三日

右特別委員長

子爵鍋島 直彬

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔子爵鍋島直彬君演壇ニ登ル〕

○子爵鍋島直彬君 實用新案法案委員會ノ經過並結果ヲ報告イタシマス、此委員會ハ一日即チ二十三日ニ開會ヲ致シマシタ、其開會ノ初ニ農商務大臣ノ説明ガゴザイマシタ、其説明ノ大意ハ即チ理由書ニモゴザイマス通り特許法並意匠法ノ範圍ニ加ハルコトノ出來ナイ、此二ツノ法ノ保護ヲ受クルコト

ノ出來ナイ實用的新案ヲ保護スルコトハ今日ノ要務デアル、實用的新案ノ保護ガ無イ爲ニ折角實用ニ適スル有益ノ物品ヲ製出イタシタル者ガアッテモ、甲ノ新案ハ乙ガ直チニ模造シ遂ニハ濫造ノ弊ニ陥ッテ、折角新案ヲ出シタル者モ其利益ヲ收メルコトガ出來ズシテ前途大ニ工業ノ發達ヲ阻礙スルト云フ虞ガアル、殊ニ家庭ノ工業ノ多イ國柄ニ於テハ就中此實用新案ノ保護ヲ爲スト云フコトハ、最モ切實ナコトデアアルニ依ッテ此案ヲ提出イタシタルデアルト云フ、大意ヲ摘ンデ述べマスレバ右様ナ説明デゴザイマス、ソレデ二十三日ノ午前十時ヨリ開會イタシマシテ午前ハ全ク質問ノミデ終リマシテ、暫時休憩イタシマシテ、午後直チニ復開會イタシマシテ午後ハ別ニ何モ議論モ無ク意見モ無ク、勿論修正ノ説モゴザイマセマデ、報告イタシマシタル通り可決スベキモノナリト議決イタシマシタノデゴザイマス、此五十條餘モアル法案ナ一日デ議決シタト申スト餘ホド急速ノ様ニゴザイマスガ、此案ハ全ク新規ナモノデハゴザイマスケレドモ多ク特許法、意匠法ノ條ニ據ッテ成立ッテ居マスモノデゴザイマシテ、其中ニ最モ簡便チ旨トシテ事ヲ省イタ條モゴザイマスシ、又或ハ特許法、意匠法ニ無イ事柄モ一二加ハッテ居ル條モゴザイマス、併ナガラ大體、特許法、意匠法デ保護ノ出來ナイモノヲ保護スルト云フノデ、其條ノ重モナル部分ハ大體、特許法、意匠法ニ據ッテアルノデ、右様ノ譯デゴザイマスカラ新規ナ箇條ト云フモノハ至ッテ少イノデゴザイマス、デ午前ハ質問ダケデ全ク終ル位ニ質問ガ多クゴザイマシタノハ、此案ノ大體ニ付テノ質問ガ最モ多クゴザイマシタ、其大體ニ付テノ質問ト申シマスルト御承知ノ通り意匠法ニモ形狀、色彩、模様、結合ナドト云フ事柄ガ出テ居リマス、丁度此實用新案法案ニモ形狀ト云フコトモアレバ、文字ハ變ッテ居リマスケレドモ組合ハセト云フコトモ出テ居リマス、ソレデ此特許法トノ範圍ノ區別ハ別ニ疑ヒモゴザイマセマデ、意匠法トハ其ノ範圍ノ區別ト云フモノガチヨット分リ惡イノデゴザイマス、其質問ガ最モ重モナル大體ノ質問デゴザイマス、ソレニ向ッテノ政府委員ノ答辯モ度々ゴザイマスルシ質問モ反覆ゴザイマシタガ、簡單ニソレヲ纏メテ申シマスルト如何ニモ此形狀若クハ組合ハセナドト云フコトハ意匠法ト文字上ハ相似テ居ルガ全ク意匠法ハ美觀的ノモノデアッテ實業上、便益ト云フ方ノ點ヨリ見タルモノデナイ、此實用新案法ノ形狀組合ハセト云フガ如キハ全ク此實用ニ於テ便益ナル新案ト云フ方ノ

趣意デアッテ意匠法ニアル所ノモノトハ全ク異ッタ所デアアル、斯ウ云フ先ツ區分ノ説明デ單簡ニ述ベマスレバ右様ナ譯デアアル、委員中ノ或一人ハ此意匠法ト云フモノガアル以上ハ別ニ法律ヲ煩雜ニ致スヨリハ何トカ主務省ノ、農商務大臣ノ勸キデ意匠法ヲ活用シテ此實用新案モ保護スルコトガ出來サウナモノデアアル、成ルベク法律ヲ餘計ニ出スコトハ避ケタイト云フヤウナ意見の質問ニ出マシタノデアリマス、之ニ向ッテノ政府委員ノ答ハ農商務省ニ於テハ特許法、意匠法ニ於テ保護シ能ハナイモノノ中ニ發明ノ特許、意匠ノ登録ヲ拒絕シタルモノノ中ニ隨分實用上、有益ノ物品ノ新案ト云フモノガ隨分アルノデアアルガ、奈何セン保護スベキ法律ガ無イ爲ニ折角新案ヲ致シマシテモ之ヲ出シタル人ガ其利益ヲ收メ能ハヌ所ヨリ遂ニ此工業ノ發達ト云フコトヲ甚ダ遲緩ナラシムル譯デアアル、ドウシテモ此實用的の便益ノ物品ヲ製出シタルモノヲ保護スルコト云フコトハ今日ノ我邦ノ程度ニ於テ極メテ必要デアアルト云フコトヲ發見シタル以來、主務省ニ於テモ實ハ特許法又ハ意匠法ノ中ニ於テ此實用新案ヲモ保護スルヤウナ修正デモ加ヘルコトハ出來マイカ、或ハ特許法ニ加ヘテハドウデアラウカ、意匠法ニ加ヘテハドウデアラウカト云フヤウナ説マデモアッタノデアアル、併シ何分サウ云フコトニナルト甚ダ錯雜チ來タシテ、チヨット一二ヲ舉ゲテ見ルト第一、此意匠法ト云フノハ稍、高尙ナルモノデ、即チ美觀の發明、實用新案ト云フトサウ云フ高尙ナモノデ無ク、チヨット致シタ輕微ナモノデモ實用上、便利デアルト云フヤウナモノマデモ這入ッテ居ル譯デアアル、故ニ此意匠ノ登録ト實用新案ノ登録トハ大ニ性質ヲ異ニシテ居ルコトガ第一デアアル、ソレカラ此今ノ新案權ノ權利ノ存續年限ニ致シテモ意匠法ハ十年、此新案法ハ三年ト云フコトニナッテ居ル、其登録料ノ如キモ意匠法ハ十年ヲ三分シテ累進法ニナッテ居ル、此新案法ハ三箇年ト云フコトニシテ登録料ハ一時ニナッテ居ル、サウ云フヤウナ違モアリ、凡テ此實用新案法ノ精神ハ成ルベク簡便ニシテ實用的ノ物品ノ益、盛ニ製出セラル、コトヲ計ルノデアアッテ簡便ナルコトヲ旨トスル、ソレ故ニ出願、審査其他ノ手續モ餘程簡易ニ設ケテアルノデアアル、ソレ等ノ點ト雖モ大ニ異ナル所ガアッテ、ソレチ一ツノ法律ノ中ニ種々ノ階級ヲ採リ分別チ加ヘルト云フコトニナルト餘ホド煩ハシイ面倒ナコトニナルノデアアル、ソレ故ニ幸ニ獨逸ニ於テ實用新案權ノ方法ト云フモノハ別ニナッテ居ル、其例ガアッタ爲ニ幸ニ獨逸ノ實用新案法ヲ參考トシテ、ソレニ依テ寧ロ右様ナ錯雜、面倒ナ特

許法、意匠法ニ修正ナドチ加ヘルヨリハ獨逸ノ例ニ倣ウテ單獨ノモノニシテ實用新案ヲ保護シタ方ガ宜シカラウト云フノデ別ニ致シタルデアアル、斯ウ云フヤウナ趣意ノ答辯デゴザイマシタ、大體ノ質問ハ重モニ意匠法ト混シ易イト云フヤウナ者カラ右様ナコトニナリマシタガ、詰リ意匠法トハ全ク性質ガ異ナルモノデアアルカラト云フ政府委員ノ答辯デ、大體ノ質問ハソレデ終リマシタノデゴザイマス、ソレカラ尙各條ニ就テ質問モゴザイマシタケレドモ、是ハ格別重モナル點ノ質問デモゴザイマセズ、細カイコトガ多イヤウデゴザイマス、別段報告ヲ致スヤウナ必要モ無カラウト思ヒマス、質問終リマシテ午後ニ再ビ開會ヲ致シマシタルトキニハ最早別ニ此案ニ對シテノ意見モゴザイマセズ、勿論何モ議論モゴザイマセズ、修正ノ説モ一ツモゴザイマセズ、此案ハ我邦今日ノ場合、實用的の工業品ヲ保護シテ將來大ニ工業ノ發達ヲ計ルニハ最モ斯様ナルモノガ無ケレバナルマイ、是ハ必要ナル案デアッテ斯ノ如キモノガアッテ權利ヲ保護サレタナラバ自然此實用新案上ニ於テ凡テノ工業家ガ心ヲ傾クルコトモ段々深クナッテ益々有益ノ品モ澤山作ルヤウニナルデアラウ、此案ハ今日ノ所、最モ必要ナル案デアッテ贊成スベキ案デアルト云フコトデ出席委員ノ一致チ以テ原案ノ通り一字一點ノ修正チ加ヘズ可決イタスベキモノト議決イタシマシタルデアリマス、委員會ノ始ヨリ終ニ至ルマデノ有様ハ右様ナ譯デアリマシテ、尙ホ此大體ニ於テ若クハ各條ニ就キ或ハ實用新案ノ統計上ノコトトカ外國ノ例トカ右様ナコトニ付キマシテ卸質問デモゴザイマスルナラ、ドウカ政府委員ニ御質問ニナルヤウニ致シタイ

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御發言モゴザイマセネバ第二讀會ニ移シテ行クヤ否ヤノ決チ採リマス、第二讀會ニ移シテ御異存ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ第二讀會ニ移スコトニ致シマス

○子爵三島彌太郎君 直チニ第二讀會ニ付セラレンコトヲ希望イタシマス

〔贊成ト呼ブ者アリ〕

○子爵鍋島直彬君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 三島子爵ノ直チニ第二讀會ヲ開ク、其説ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ直チニ第二讀會ヲ開キマス、第一章第一條ヨリ第八條マデナ問題ニ供シマス、……第一條ヨリ第八條マデ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ次ハ第二章全部ナ問題ニ供シマス、……是亦御異存ナイモノト認メテ宜シウゴザイマスカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ可決セラレマシタ、次ハ第三章ナ問題ニ供シマス、……第三章全部、……御異議ナイモノト見テ宜シウゴザイマスカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ次ハ第四章全部、……御異議ナイモノト見テ宜シウゴザイマスカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ次ハ第五章ニ移リマス、……第五章全部、御異議ナイモノト見テ宜シウゴザイマスカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○伯爵大原重朝君 引續イテ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) マダ附則ガ殘ッテ居リマス、附則第五十一條、第五十二條、之ヲ問題ニ供シマス

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイモノト見テ宜シウゴザイマスカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ可決セラレマシタ、是デ第二讀會ハ終リマシタ

〔「贊成」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 引續イテ第三讀會ヲ開クト云フ大原伯爵ノ御意見ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ是ヨリ第三讀會ヲ開キマス、……第二讀會

ノ決議通りデ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ是デ第三讀會ヲ終リマシタ

○議長(公爵徳川家達君) 次ハ議事日程第二十、野田男爵

煙草專賣局及製鐵所据置運轉資本補足ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十八年一月二十三日

右特別副委員長

男爵野田 豁通

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔男爵野田豁通君演壇ニ登ル〕

○男爵野田豁通君 本案ノ特別委員會ニ於キマシテ委員長大原伯爵ハ當日御闕席デゴザイマシタ故ニ私ヨリ委員會ノ結果ヲ御報告イタシマス、本案ハ一月二十三日ニ委員長ノ互選ヲ行ヒマシテ即日ニ委員會ノ議事ヲ開キマシテゴザイマス、政府委員ノ御説明及二三ノ質問ガゴザイマシテゴザイマス、其大要ハ煙草專賣局ノ据置資本金ハ法律上ハ八百萬圓ト定メテゴザイマスケレドモ實際ハ五百萬圓ダケニ今日ハ止メテゴザイマス、然ルニ從前葉煙草ノ專賣ヲ取行ッテ居リマシタ當時ハ右ノ五百萬圓デ差支ナク運用ヲ致シテ來マシタ、其後煙草ノ製造ヲ致スコトニナリマシタ爲ニ自然此原料及既成品ヲ長ク倉庫ニ貯藏イタシマスコトニナリマシタ爲ニ或ル場合ニ於キマシテハ一千二百萬圓ホドノ資本ヲ要スルト云フ場合ガ生ジテ參リマシタト云フコトデゴザイマス、又製鐵所ノ方ハ四百五十萬圓ノ資本デゴザイマスルガ、追々製造品ノ盛大ニ趣キマスニ付キマシテ是亦原料及既成品ノ貯藏等ノ爲ニ今ノ資本金デハ實際運用ガ出來ヌコトニ立至リマシタト申スコトデゴザイマス、爲ニ普通デゴザイマスレバ右ノ不足金ハ資本金ノ増加ヲ致シマスノガ當然デゴザイマスケレドモ、今日ノ時局ニ於キマシテハ右ニ充テマス所ノ財源上ニ大藏省政府委員ニ於キマシテモ意ヲ致サレマシテ一時融通證券ト云フモノヲ發行シテ其資本金ノ不足ニ充テルト云フノガ此法律案ノ精神デアルト云フコトデゴザイマス右ニ付キマシテハ一二質問ガゴザイマシタ事柄ハ、融通證券ト申シマスノハ先ヅ是マデ政府ニ於テ發行イタシテ居ル證券ノ名稱ニハゴザイマセヌカ、

ソレデソレハ全ク此資本金ノ補充ヲ致ス爲ニ融通ヲ要シマス爲ニ發セラレマシタ證券デゴザイマシテ、付キマシテハ專賣局及製鐵所ニ於キマシテ實際物品ノ購買等ヲ致シマス場合ニ右ノ證券ヲ以テ仕拂チナスコトガ出來ルヤ否ヤト云フコトノ質問モゴザイマシタノデ、之ニ對シマス政府委員ノ説明ハ法律上之ヲ制裁スルト云フコトハゴザイマセケレドモ各所デ其不足ノ場合ニ小切手同様ノモノヲ發シマシテ仕拂チ爲スト云フコトハ甚ダ煩雜デモゴザイマ

スガ故ニ、是ハ大藏大臣ニ於キマシテ國庫債券ト同様ニ發行イタサレマシテ重モナル銀行ノ引受ニ委セラレ、ト云フコトニナツテ居ルサウデゴザイマス、又一ニハ官有ニ歸シマシタ後ノ煙草ハ從前民間デ製造ヲ致シテ居リマシタ當時ノ煙草ニ比スレバ甚ダ吞口ガ宜シクナイ、代價モ高クナツタト云フコトヲ專ラ承リマス所デゴザイマスガ、實際當局者ノ取扱ツテ居ラレマス所ノ結果ニ於テ從前民間デ月々賣上ゲテ居リマシタ高ト大藏省專賣局デ引受後ノ賣下ノ數量ト云フモノノ増減ニ於テハ如何ナル結果デアルカト云フコトヲ尋ネテ見マシタガ、是ハ未ダ既製品ガ澤山殘ツテ居リマス爲ニ實際ノ統計ト云フコトハ今日未ダ明ニ分ラナイト云フコトデアリマス、併ナガラ當局者ノ答辯ニ依リマスレバ民間ノ製造ヲ致シテ居リマシタ時ノ原料ニ比シマスレバ正ニ今日專賣局ニ於テ用キテ居リマス所ノ原料ハ上等ノ品デアルト云フコトデゴザイマス、一時ノ移リ變リノ爲ニ多少從來吞付ケマシタ煙草ノ慣習カラシテ今日ノ煙草ノ吞口ガ惡イト云フコトモゴザイマセウケレドモ、是等ハ漸次必ズ一般ノ人民ノ嗜好ニ應ズルコトニナルデアラウト云フコトデアリマス、尙又當局者ニ於キマシテハ勉メテ一般人ノ口ニ適シマスヤウニ改良イタスト云フコトデゴザイマス、大要右様ナコトデゴザイマシテ、極是ハ簡單ノ法案デゴザイマスカラ、一ノ異議ナク全會一致ヲ以テ可決スベキモノト決シマシタ、此段御報告イタシマス

○男爵中川興長君 本案ハ簡單ナルモノデアリマスカラ讀會省略ノ動議ヲ提出イタシマス

○南郷茂光君 贊成

○伯爵大原重朝君 贊成

○西村亮吉君 贊成

〔其他「贊成」ト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵德川家達君) 唯今ノ中川男爵ノ讀會省略ノ動議ハ定規ノ贊成ガ

アッタヤウニ議長ハ認メマス、讀會省略ノ動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、原案ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ可決セラレマシタ、次ハ議事日程第二十一、特別委員長報告、長岡子爵

海軍工廠資金會計法案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十八年一月二十三日

右特別委員長

子爵長岡 護美

貴族院議長公爵德川家達殿

〔子爵長岡護美君演壇ニ登ル〕

○子爵長岡護美君 此案ハ諸君ノ既ニ御一覽ノ通り誠ニ簡單ナルモノデ、又政府カラ提出シタル所ノ理由モ誠ニ鮮明ナ次第デアリマスガ、委員會ハ昨日ノ午前十時ニ開會ヲ致シマシテ、而シテ此委員會中ニハ是マデ海軍ノ會計ノ主任ヲサレタ御方モアリマス、又其他海軍ノ現官ノ御方モ多クアル譯デアリマシテ、質問モアリマシタガ、事ガ簡單ニ且ツ明瞭デアリマスカラ、直チニ委員會ハ可決シテ今日議場ニ御報告ヲ致ス次第デアリマス、是ハ既ニ昨年、海軍ノ造船廠及海軍ノ造兵廠ヲ合併シテ海軍工廠トナツタル結果、今度ハ此資金モ亦合併シテ之ヲ整理スルノ必要ガ起ツテ參ッタノデアリマス、整理スルノガ必要ナルノミナラズ又事務モ簡單ニナリマスノデ、自ラ吏員ノ淘汰モ出來マスシ、經常費ノ都合ニ依ッテモ餘ホド節減ヲ加ヘラレルト云フコトニナリマス、誠ニ是ハ便宜ナ案デアリマス、又既ニ合併シタ以上ハ又此資金モ合併シテ整理スルト云フコトハ最モ至當ナル次第デアルト委員會ハ總テ之ヲ可決シタ次第デアリマス、抑モ初メ明治九年ノ時分ハ僅カ六十八萬圓クラデ此特別會計ノ即チ此工廠資金ト云フヤウナモノガ其時分ハ造船資金ト云フヤウナモノデ始ッタノデアリマスガ、段々ト此第五條ニアル即チ此材料ノ殘材、

殘屑、艦船取外シ物品等ノ自然ニ生ズル所ノ利益カラシテ之ヲ積ンデ今日ニ至ッテハ餘ホド其數ガ増シテ既ニ四百萬圓ニナッテ居リマスガ、併ナガラ是ヨリ明治四十五年ニナレバ必ズ此九百五十萬圓ト云フ目的ヲ達スルコトニナリマスノデ、是ハ全ク特別會計法ヲ設ケテ斯様ナ便宜ヲ圖ッタノデアリマシテ、之ガ爲ニ物ヲ買入レル時ノ便宜ガ大キニ都合ガ好クナル譯デアリマス、サウ云フ次第デアリマシテ是ハ一々御説明ヲ逐條ニ申上ゲル必要モアリマスマイシ、又此事ハ即チ海軍省ノ會計局長ガ居ラレマスデ金錢上ノ取扱ノコトハ主任者ニ御質問ニナルコトガ私ガ申上ゲルヨリハ鮮明ニ御分リニナルダラウト思ヒマスカラ、本員ハ大體ダケ御報告申シテ、ドウカ此以上ノ御質問ハ政府委員ニ御質問アラムコトヲ希望イタシマス、併ナガラ斯ノ如ク明瞭ナ且ツ簡單ナ案デアリマスカラ、若シ諸君ニ於テ之ヲ可ナリト御判定ニナリマスレバ、ドウカ讀會省略ヲ以テ直チニ可決セラレムコトヲ希望イタシマスノデアリマス

○西村亮吉君 讀會省略ニ贊成

○子爵曾我祐準君 贊成

○伯爵大原重朝君 贊成

○南郷茂光君 贊成

○中島永元君 贊成

○男爵川口武定君 贊成

○伯爵大田原一清君 贊成

○伯爵坊城俊章君 贊成

○伯爵萬里小路通房君 贊成

○子爵錦織教久君 贊成

○子爵堀田正養君 チヨット政府委員ニ質問イタシタウゴザイマス、第四條ニアル「歩合ヲ定メテ」云々ト云フノハドウ云フ割合デアリマスカ

〔政府委員村上敬次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(村上敬次郎君) チヨット唯今聽漏シマシタガ、第四條ノドウ云フコトデ……

○子爵堀田正養君 「歩合ヲ定メテ」云々ト云フノハドウ云フノデスカ

○政府委員(村上敬次郎君) 第四條ノ歩合ハ毎年度末ニ於キマシテ、前三箇年ノ比例ヲ以チマシテ、ソレヲ斟酌シテ當該年度ノ歩合ヲ豫メ定メルコトニ

ナリマス

○議長(公爵徳川家達君) 讀會省略ノ動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、原案ニ御異存ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ可決セラレマシタ、次ハ議事日程第二十二デアリマスガ、特別委員ノ報告ハ第二十三ノ方モ同時ニ東ネテ報告ヲ致サレマス

國債證券及貯蓄債券ノ利子所得稅免除ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十八年一月二十三日

右特別委員長

伯爵柳原 義光

貴族院議長公爵徳川家達殿

國債證券價格計算ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十八年一月二十三日

右特別委員長

伯爵柳原 義光

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵柳原義光君演壇ニ登ル〕

○伯爵柳原義光君 是ヨリ國債證券價格計算ニ關スル法律案及國債證券及貯蓄債券ノ利子所得稅免除ニ關スル法律案ノ委員會ノ經過ヲ簡單ニ御報道申上ゲマス、是ハ去ル二十一日ニ正副委員長ノ選舉ヲ致シマシテ、越エテ二十三日ニ委員會ヲ開キマシタノデゴザイマス、デ便宜上、國債證券及貯蓄債券ノ利子所得稅免除ニ關スル法律案ノ方カラ先キニ御報告ヲ申上ゲマスデゴザイマスガ、是ハ此理由ニ書イテゴザイマス通り、戰時財政經營ノ必要上、發行スル國債證券及貯蓄債券ノ所有者ニ對シテハ力メテ利便ヲ與フルノガ適當デ

アルト云フ極簡單ナル理由カラシテ此所得稅ノ免除ナシヤウト云フ精神デア
ルノデゴザイマス、ソレデ然ラバ之ヲ免除スレバ其金額ハドノ位デアアルカト
云フコトナ政府委員ノ方ニ質問イタサレタ所ガ其金額ハ漸ク三十四五萬圓ク
ラキデアアルト云フコトデゴザイマス、是ハ至極時局ニ適シタル必要ナル法律
案デアアルト云フコトナ委員會デハ認メマシテ、全會一致ヲ以テ可決イタシマ
シタ次第デゴザイマス、ソレカラ國債證券價格計算ニ關スル法律案、是モ此
理由書ニ書イテゴザイマスル如ク、矢張り此臨時事件ニ依ッテ生ジタル經費
ヲ支辨スル爲ニ發行スル國債證券ニ一種特別ノ效力ヲ附與スルノハ目下ノ時
局ニ於テ最モ必要ナルコトデアアルカラシテ、ソレガ爲ニ此法律案ヲ出シタト
云フコトデゴザイマシテ、是ハ詰リ應募ノ際ノ最低額ヲ以テ價格計算ナシテ
差支ナイト云フコトデゴザイマスノデ、詰リ時價ガ發行ノ際ノ最低價格ヨリ
低イ場合ガアツテモ發行ノ際ノ最低價格ヲ以テ計算シテ宜イト云フ事柄デゴ
ザイマシテ商法ノ第二十六條ノ規定ニ違反スルモノデナイト云フ保障ナ此法
律デ與ヘラル、コトニナルモノデアラウト思ヒマスルノデゴザイマスルガ、
是モ矢張時局ノ際、特殊ノ效力ナ國債證券ニ附スルノハ必要ナモノデアアルト
云フコトデ委員會ニ於テハ矢張り全會一致ヲ以テ可決イタシタヤウナ次第デ
ゴザイマス、尙詳シキコトハ當日政府委員トシテ委員會ニ出席セラレタ水町
君モ御出席ニ相成ッテ居ルヤウデゴザイマスカラ、御質問ノアル御方ハ本員
ニ對シテ御尋ネニナルヨリ政府委員ニ向ッテ御質問ニナッタ方が宜ウ御分リ
ニナラウト思ヒマスルカラ、本員ハ簡單ニ御報告ダケヲ申上ゲテ置キマス

○子爵曾我祐準君 政府委員ニチヨット御尋イタシタウゴザイマスガ、國債
證券ニ付テハ最低發行價格ヲ以テ債權ノ價格トシテ計算スルト云フコトデア
リマスガ、國債證券ハ第一回第二回第三回ト度々ニ出テ居リマス、尙此先ニ出
ルコトデアリマセウガ、其價格ノ上ニ於テモ各々違フデアリマセウガ、第一
回ノ國債證券ハ第一回ノ最低價格ヲ以テ計算ナシ、第二回ノ分ハ第二回ノ最
低價格、第三回ノ分ハ第三回ノ最低價格ト云フヤウナ譯ニ發行ノ回数ニ依ッテ最
低價格ガ違ッテ居レバ終リマデソレデ行カウト云フ精神デアリマスカ、チヨッ
ト伺ヒマス

〔政府委員阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(阪谷芳郎君) 唯今ノ御尋ノ通りデゴザイマス、發行イタシマス
毎ニ其最低發行價格ヲ定メマスカラ、ソレニ依ル積リデゴザイマス

○子爵曾我祐準君 サウスルト同ジク一萬圓ノ債券ヲ持ッテ居ッテモ、第一
回ト第二回ノ發行價格ニシテ其最低價格ガ相違イタシテ居リマスレバ、價ガ
違フ譯ニナルノデアリマスナ

○政府委員(阪谷芳郎君) サウ云フ譯ニナリマス

○谷森眞男君 私モチヨット質問ヲ致シマス

○議長(公爵徳川家達君) ドノ箇條ニ付テノ御質問デアリマスカ

○谷森眞男君 唯今ノ國債證券價格計算ニ付テ質問ナ……

○議長(公爵徳川家達君) チヨット御待チ下サイ、唯今曾我子爵ニ質問ヲ許
シマシタガ、先ヅ御質問ハ日程第二十二ノ方ナ先ニ願ヒタイ、特別委員ノ報
告ハ東ネテ致シマシタガ、唯今ノ問題ハ第二十二デゴザイマスカラ……

○谷森眞男君 私ノ質問ハ曾我子爵ノ質問ノ續キデゴザイマスカラチヨット
續イテ御許シナ願ヒタイ

○議長(公爵徳川家達君) 日程第二十三ニ付テノ御質問ナラバ暫ク御見合セ
ナ願ヒマス、日程第二十三ノ方デゴザイマスカ

○谷森眞男君 二十三ノ方デゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ暫ク御見合セナ願ヒタイ

○男爵中川興長君 本案モ讀會省略ヲ以テ議決セラレムコトヲ望ミマス

○南郷茂光君 賛成

○伯爵大村純雄君 賛成

○伯爵正親町實正君 賛成

○子爵平松時厚君 賛成

○子爵板倉勝達君 賛成

○子爵入江爲守君 賛成

○男爵藤大路親春君 賛成

○男爵川口武定君 賛成

〔此他「賛成」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 中川男爵ノ讀會省略ノ動議ニ賛成ノ諸君ハ起立ナ
請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、原案御異存ゴザイマセ
ヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ可決セラレマシタ、次ハ日程第二十三

○谷森眞男君 政府委員ニ質問イタシマスガ、此案ノ法文ニ依リマスルト、最低發行價格ヲ以テ債權ノ價格トシテ計算スルコトヲ得ト云フノデゴザイマス、ソレデ計算スルコトヲ得ト云フノデアルカラ、計算シナイコトモ出來ルノデアル、シテ見ルト此銀行諸會社等ノ計算上ニ於テ、商法ニ規定スル所ノ法文ニ對シテハ甚ダ薄弱ナルカノ如ク考ヘマスガ、其邊ハ政府デハドウ云フ御見込デアリマスカ、ソレナ伺ヒタイ、又一ツニハ若シモ不幸ニシテ或ル會社ナリ銀行ナリガ破産ナスル場合ガアツタ時ニハ最低發行價格ヲ以テ資産ヲ計算シ居ルナラバ、若モ其時ノ時價ガ、其以下デアツタラドウナリマスカ、餘ホド妙ナモノニナリハセヌカト思ヒマス、其邊ハ政府ニ於テハドウ云フ處置ヲ取ラレルノデアリマセウカ、其二箇條ヲチヨット承ッテ置キタイ

〔政府委員阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(阪谷芳郎君) 本案ハ申スマデモゴザイマセズ今日ノ重大ナル時局ノ必要カラ生レ出マシタ案デゴザイマスカラ、此一言ヲ以テ大抵説明ヲ盡シテ居ルトハ考ヘマスガ、商法ノ規定ニ依リマシテモ一向差支ナイ、唯一時ノ出來事カラ軍事公債ニ多少ノ變動ノアツタ場合ニ一々下ツタ値デスルト云フコトハ多數ノ應募ナシタ人ノ爲ニハ非常ノ迷惑ニナリマスカラ是ダケノ特典ヲ與ヘルト云フニ過ギマセヌ、應募シタ人ガ正式ノ計算ニ依ルガ宜イト云ヘバ正式ニ計算シテ差支ナイ、破産ナスルト云フコトハ減多ニ無イコトデアリマセウガ、アリマシタ所ガ、法律自然ノ結果ニ依ル外ハ無イ、併ナガラ公債證書ハ賣買ノ途モアリマスカラ決シテ唯今御心配ニナリマスヤウナ損失モ起ルマイト思ヒマス、政府ニ於テモ軍事公債ノ價格ハ一國ノ經濟ヲ維持スル上ニハ重要ノ事デアリマスカラ成ルベク價格ノ下落セヌ手段ヲ執リマス

○伯爵正親町實正君 私モ質問ガアリマス、唯今曾我君ノ御質問ニ付キマシテ、政府委員ノ御答辯ガアリマシタガ、ソレニ付テ伺ヒ損ヒカ知レマセヌガ感ヒマスカラモウ一應伺ヒマスガ、最低發行價格ト申スト、例ヘバ二回ナリ三回ナリ發行ニナリマス、サウスルト價格ガ違ヒマス、例ヘバ九十五圓トカ九十三圓トカ九十一圓トカ云フ價格デ發行ニナル、其中ノ一番低イ價格ヲ以テ計算スルト云フノカト思ヒマシタガ、唯今ノデハ發行都度ノ價格ト云フヤウ

ニ伺ヒマシタガ如何デゴザイマスカ

○政府委員(阪谷芳郎君) 御答イタシマスガ、國債ノ發行チシマスノハ其時々條件ガ違ヒマス、條件ガ違ヒマスカラ從ッテ價格モ違ッテ參リマスカラ發行シマス度ニ最低ノ價格ガ違ヒマス、同一ノ場合モアリマスガ多クハ變リマス、其發行ノ都度ニ公債ノ發行ノ種類ガ極リマスカラ其物ニ付テ極メマス、第一回ハ第一回、第二回ハ第二回ト發行都度ノ最低價格ニ依リマス

○澤原俊雄君 私モ一ツ伺ヒマス、唯今谷森君ノ御述ベニナリマシタ、本法ハ詰リ商法二十六條ノ除外例ノヤウニ承ッテ居リマスガ、サウ致シマス、利益配當ト云フ分ニモ無論此除外例ニナラウト思ヒマスガ、サウ致シマス、若シ百九十五條ノ場合ニ於テ債權者ガ異議ヲ申立ツタ場合ニハ此法案ガ百九十五條ニ對抗スルコトガ出來ルデアリマセウカ、是ガ一ツ、ソレカラ若シ對抗スルコトガ出來ルト云フコトナラバ債權者ハ詰リ損失ヲ招クコトニナルガ、其債權者ニ損失ヲカケマスノハドウ云フ……是ガ第二、第三ニハ若シ對抗スルコトガ出來ナイモノトナリマシタナラバ財産目錄ヲ作ル場合ニ詰リ實際ノモノデナクシテ如何ハシイ財産目錄ヲ作ルヤウニナリマスガ、ソレハ政府ハ御認メデアリマスカ、此三點ヲ……

○政府委員(阪谷芳郎君) 是ハ對抗ノ出來マスル考デアリマス、ソレデ今日ノ時局デゴザイマスカラ致シマシテ、平常ヲ以テ論ズルコトハ斯ウ云フ問題ニ付テハ餘程ムヅカシイコトデアリマス、先刻モ御答イタシマシタ通りニ政府ニ於キマシテハ、軍事公債ノ價格ノ下落セヌ手段ヲ十分ニ執リマスカラ、一時變動ガアリマシテモ亦價格ヲ恢復スルト云フコトハ必ズアルコトト考ヘマスノデ、一時ノ變動ノ爲ニ計算下ゲマスト非常ニ株主ノ迷惑ヲ來スコトモゴザイマス、要スルニ平時ニ於キマシテハ斯ウ云フ法律案ハ必要ハゴザイマセヌ、今日ノ場合ニ於キマシテハハ已ムヲ得ヌト考ヘマス

○澤原俊雄君 債權者ノ損失ヲ招キマシテモ已ムヲ得ヌト云フノデアリマスカ

○政府委員(阪谷芳郎君) 法律ノ結果ニ依リマシテ或ハ損失チスルカモ知レズ損失セヌカモ知レマセヌ、色クアリマセウガ政府ハ損失ハ無イト考ヘマス、此法律ガ無イヤウニナレバ配當チセヌコトガ起ッタリ何カシテ非常ニ株主其他ノ迷惑ガ多カラウト思ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 別ニ御發言ガゴザイマセヌケレバ……

○南郷茂光君 讀會省略ヲ希望イタシマス

○男爵中川興長君 賛成

○子爵本莊壽巨君 賛成

○湯地定基君 賛成

○菊池長四郎君 賛成

○子爵板倉勝達君 賛成

○子爵一柳末德君 賛成

〔其他「賛成」ト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵德川家達君) 讀會省略ノ動議ハ定規ノ賛成ガアッタヤウニ認メマス、讀會省略ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、原案デ御異存ゴザイマヒヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ可決イタシマス、次ニ議事日程第二十四、特別委員長報告、菊亭侯爵

在外國帝國專管居留地特別會計法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十八年一月二十一日

右特別委員長

侯爵菊亭 修季

貴族院議長公爵德川家達殿

〔侯爵菊亭修季君演壇ニ登ル〕

○侯爵菊亭修季君 本案ニ付キマシテ委員會ノ結果ヲ御報告イタシマス、本案ハ去ル二十一日ニ委員會ヲ開キマシテ政府委員ニ就キマシテ説明ヲ請ヒ、又種々ノ質問ヲ致シマシタ所ガ本案ハ誠ニ已ムヲ得ヌ必要ナ事ト考ヘマシテ滿場一致ヲ以テ可決イタシマシタ、此段御報告イタシマス尙此件ニ付キマシテ諸君ノ御質問ガゴザイマスレバ私ハ甚ダ訥辯デゴザイマスカラ政府委員ニ詳シク御聞キテ願ヒタウゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御發言ガ無ケレバ……

○男爵中川興長君 本案モ讀會省略……

〔「賛成」ト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵德川家達君) 中川男爵ノ讀會省略ノ動議ハ定規ノ賛成者ガアッタト認メマス、讀會省略ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、原案御異議ハゴザイマヒヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ可決セラレマシタ、是ニ於テ本日ノ議事ハ終リマシタ、先ニ御委託ニナリマシタル特別委員ノ氏名ヲ御報道ニ及ビマス

〔小原書記官朗讀〕

臺灣銀行ニ於テ發行スル銀行券ノ偽造變造等ニ關スル法律案特別委員

子爵大田原 一清君 子爵堀河 護磨君 男爵調所 廣丈君

男爵安場 末喜君 千坂 高雅君 馬屋原 二郎君

山本 達雄君 伊澤 修二君 阿由葉吟二郎君

北海道拓殖銀行法中改正法律案外一件特別委員

伯爵松平 直亮君 子爵唐橋 在正君 子爵山口 弘達君

男爵南岩倉 具威君 男爵高崎 安彦君 湯地 定基君

富田 鐵之助君 森 山 茂君 內藤 宇兵衛君

明治三十年法律第十三號中改正法律案特別委員

侯爵佐竹 義生君 子爵久留島 通備君 子爵松平 忠禎君

男爵原田 一道君 男爵四條 隆平君 男爵新田 忠純君

兒玉 利國君 村井 彌兵衛君 澤原 俊雄君

司法官試補實地修習期間減縮ニ關スル法律案特別委員

伯爵島津 忠亮君 子爵本莊 壽巨君 子爵入江 爲守君

男爵小野 尊光君 男爵本多 政以君 奧山 政敬君

菊池 武夫君 兒玉 淳一郎君 鳥越 貞敏君

耕地整理法中改正法律案特別委員

伯爵松本 宗隆君 子爵伊集院 兼知君 田中 芳男君

男爵玉松 眞幸君 男爵島津 珍彦君 男爵青山 元君

飯島 武之助君 五十嵐 敬止君 森 廣三郎君

船舶法中改正法律案外一件特別委員

伯爵德川 達孝君 子爵平松 時厚君 子爵永井 尙敏君

男爵前島 密君 淺田 德則君 黒岡 帶刀君

男爵毛利 五郎君 長谷川 貞雄君 田島 竹之助君

○議長(公爵德川家達君) 明日ハ本會議ヲ開キマスガ、議事日程ハ唯今少シ決定シ兼ねマスカラ、アトヨリ御報告イタシマス、今日ハ散會

午前十一時三十三分散會